

多くあるので、補正予算を計上し、なるべく前倒しで実施するよう要求しました。

□商工観光部

長崎空港利用促進対策事業の成果について質問し、市側からは、「成果の一例として、ジンエアーのソウル便が週3回から毎日運航となり、利用率は70から80%台で推移している。」との答弁がありました。

□市民環境部

スポーツ施設整備改修事業において、老朽化した野球場や陸上競技場の改修について質問し、市側からは、「平成27年度予算には計上していないが、今後は、助成金の活用など財源の確保に努めながら、その他の老朽化した体育施設の改修を含め検討したい。」との答弁がありました。

□都市整備部

木場スマートインターチェンジ整備事業の進捗状況について質問し、市側からは、「市道上久原芋掘手線を除くスマートインターチェンジ本体の地権者ベースで約77%の用地買収が完了しているが、残りについては、代替え地や相続関係等の理由で完了していないため、引き続き交渉を行って、平成27年度中には用地買収を完了させたい。」との答弁がありました。

平成27年度特別会計・企業会計当初予算

- 国民健康保険事業特別会計
歳入歳出予算総額 106億8,223万7,000円
- 後期高齢者医療事業特別会計
歳入歳出予算総額 9億265万9,000円
- 介護保険事業特別会計
歳入歳出予算総額 64億3,581万2,000円
- 工業団地整備事業特別会計
歳入歳出予算総額 8億8,734万7,000円
- 簡易水道事業特別会計
歳入歳出予算総額 7億2,731万8,000円
- 水道事業会計
収益20億2,296万8,000円/費用18億6,737万7,000円
- 工業用水道事業会計
収益2億3,145万7,000円/費用2億8,145万9,000円
- 下水道事業会計
収益34億4,559万7,000円/費用26億9,552万9,000円
- 農業集落排水事業会計
収益4億4,379万8,000円/費用4億917万4,000円
- モーターボート競走事業会計
収益711億8,204万円5,000円/費用704億7,593万5,000円
- 病院事業会計
収益4億5,169万2,000円/費用1億9,450万4,000円

平成27年度の国民健康保険被保険者数(全体)は、20,917人を見込んでいます。予算額が前年度と比較し、12.3%増加していますが、これは、県内の市町がお金を出しあって医療費の負担を共有する保険財政共同安定化事業の改正により、事業対象が拡大されたためです。

近年、本市の高齢者人口及び要支援・要介護認定者数は増加傾向にあり、第6期介護保険事業計画の初年度にあたる平成27年度は、認知症総合対策や介護予防に重点を置いた運営に努めます。

新たな工業団地の整備事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、工業団地整備事業特別会計を新設するものです。

平成27年度は主に、当該予定地に係る用地取得費及び補償費を計上しています。

病院事業は、診療報酬等を指定管理者の収入とする利用料金制を採用した指定管理者制度を導入しており、診療報酬等の料金収入がないため、一般会計繰入等による収支となっています。

平成27年度は、築36年を迎え老朽化が目立つ病院本館の建替え工事に着手します。新病院のプレオープンは平成29年4月、グランドオープンは平成30年4月を予定しています。

※企業会計は消費税等込の予算額です。また資本的収支は記載しておりません。